

2020年9月吉日



NPO 法人アトピッコ地球の子ネットワーク
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-12
竹内ローリエビル 405
tel. 03-5948-7891 fax. 03-5291-1392
info@atopicco.org

アレルギー用粉ミルクを無償で提供しています。 周知にご協力お願いいたします。

■食物アレルギーの赤ちゃんのための応援事業

新型コロナ禍の終息が見込めない中で、経済的に苦しい世帯が徐々に増え、様々な支援事業が立ち上がっています。認定 NPO 法人アトピッコ地球の子ネットワークでは、下記のいずれかに該当するご家庭にアレルギー用粉ミルクを無償で提供する事業を行っております。

1. 新型コロナ禍で世帯収入が下がった家庭
2. 新型コロナ禍で家族内に失業者がいる家庭
3. ひとり親家庭
4. その他（1～3 に当てはまらない経済的理由のある家庭）

■周知にご協力お願いいたします

粉ミルクがほしい保護者の方は、同送チラシに掲載している QR コードを読み取って応募フォームに必要事項を記入してください。申し込み資料を拝見しながら、メールや電話で問い合わせさせていただくことがあります。ご理解とご協力をいただければ幸いです。また、アレルギー用粉ミルクは、私たちから直接ご家庭に送ります。継続支援が必要なご家庭には、追加送付の準備を進めています。

アレルギー用粉ミルクを必要とするご家庭にぜひお伝えください。チラシを保護者にお渡しくださるか、掲示場所に貼っていただけたらと思います。チラシを複数枚同送いたします。急なお願いで恐縮です。ご協力の程どうぞよろしくお願い致します。

■締め切りは 2020 年 12 月 20 日です

該当するかどうかははっきりしない時は、まず応募してください。
ご事情を記入する欄があります。当方から確認の連絡をいたします。
*締め切りが過ぎても対応できるよう準備中です。
まずはお問い合わせください。



■団体紹介資料を同送しました

あわせてお目通しいただければ幸いです。

ご多忙の折、本紙にお目通しくださりありがとうございました。

新型コロナ禍 アレルギー用粉ミルクを無料で配布します。

新型コロナ禍で収入が下がった家庭またはひとり親家庭で、食物アレルギー用の粉ミルクを必要とする家庭に、アレルギー用粉ミルクをまず1カ月分届けます。

申し込み締め切り
2020年12月20日(日)

【対象家庭】

- 以下1～4のいずれかに該当し、食物アレルギー用ミルクを必要とする家庭
1. 新型コロナ禍で世帯収入が下がった
 2. 新型コロナ禍で失業者がいる家庭
 3. ひとり親家庭
 4. その他(1～3に当てはまらない経済的理由のある家庭)

【申込方法】

申込 URL または QR コードから、必要事項を入力してください

■必要事項

- ・申込者(保護者)の年代
- ・ご住所
- ・電話番号(携帯)
- ・メールアドレス
- ・子どもの生年月日
- ・子どもの性別
- ・子どものアレルギー
- ・希望するミルク
- ・1～4の該当事項
- ・配送に関する希望
- ・どこでこの取り組みを知ったか?

【問い合わせ先】

認定 NPO 法人
アトピッ子地球の子ネットワーク
info@atopicco.org



製品写真は各メーカーのWEBサイトから転載しています。

◎申込先(認定NPO法人アトピッ子地球の子ネットワーク)

https://bokinchan3.com/atopicco/support/bokin/page_a.php

- ・お申し込みいただいた方には、アトピッ子地球の子ネットワークからお電話差し上げます。
- ・応募者多数の場合はご期待に沿えない場合がありますのでご了承ください。



認定 NPO 法人アトピッ子地球の子ネットワーク
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-12
竹内ローリエビル 405
tel.03-5948-7891 fax.03-5291-1392
info@atopicco.org



アトピッ子地球の子ネットワークに寄せられた声

職場の「3密」を避けるために、パートの出勤日数を減らすことになった。週5日勤務が3日になり、残業もなくなったので収入は大幅に減った。緊急事態宣言が解除された後もその状況は変わっていないので経済的にはとても苦しい。



夫とは別居中で、厳密にいうとシングルマザーではないけれど実態はそうになっている。親族がこの状況に腹を立てていて相談に乗ってくれない。私は対象にはならないと思ったけれど電話しました。審査とかあるんですよね。……審査はないです。お話しを聴かせていただいて粉ミルクを送っています……

夫は留学生で帰国したタイミングで緊急事態宣言が出された。夫の国では出国が制限されていて、もう半年戻って来れない状態。夫は学生だがインターンである程度の収入を得ていた。それが途絶えてしまった。自分は産休中で収入が以前の7割になっているのでとても苦しい。職場は密を避ける目的でローテーションで入社し、入社しない人はテレワークになると聞いたが自分のテレワークの環境が整っていないため、会社からは復帰時期を後ろ倒しするように言われている。見通しが立たない。

夫の親族を自宅で介護している。同居していない親戚が「感染するかもしれないので福祉施設に連れて行くのをやめてほしい」とうるさく言うので、週のうち何日かデイケアセンターに預けパートをしていたが、それをやめなければならなくなった。元々少ない収入がまったくなくなった。夫の収入と少額の年金で暮らすのは本当に大変。うるさく言う親族は金銭的には助けてくれない。



夫はフリーのカメラマンをしている。元々仕事量に変動があり収入の多い月と少ない月がある。それを自分のパートで埋めるような感じでやりくりしていた。子どもを預けていた保育園が「密を避ける」目的から子どもを預かる日数を減らすことになった。お互いさまと考えて自分の働く日数を減らしたら、「少ない月」のやりくりができなくなってきた。親族に借金をお願いしに行って返事を待っているところ。あまりいい顔はされなかった。自分は貧困ではないが、貧困に向かっている感じがする。



申込先はこちら



認定 NPO 法人アトピッ子地球の子ネットワーク
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-12
竹内ローリエビル 405
tel.03-5948-7891 fax.03-5291-1392
info@atopicco.org